

# みんなの会ニュース



だれもが生き生きと住み続けられる多摩ニュータウンの再生を  
みんなの会代表 新田 孝

四月のいっせい地方選挙を前に、阿部市政の今後に問われる政策課題があります。多摩ニュータウンの再生に向けての取り組みで

憲法をくぐらしたのちおびおびく！  
市民をくぐらしたのちおびおびく！  
多摩市政をくぐらしたのちおびおびく！



す。それは、一九七〇年代に建設された諏訪都営住宅一五〇〇戸の建て替え問題、環境問題で八車線化を止めてきた南多摩尾根幹線の全面開通の整備推進問題です。市は「これらの課題を解決し、若い世代から高齢者まで、だれもが生き生きと住み続けられるまちを実現するため」とニュータウン再生の決意を述べています。

市民の多くは、緑や環境、バリアフリーなど時代の要求にかなった街づくりを否定する人はいません。住み慣れたまちを高齢者が追われることなく生活ができる「再生」を願っています。

多くの課題で市民のみなさんと情報を共有し対話を重ねながら  
多摩市長 阿部 裕行

本年は戦後七〇年目の年を迎えます。

今年も多摩子どもたちと共に広島平和記念式典に参列し、全ての被災者の鎮魂と核兵器の全廃を願うと共に、平和を継承する催し

も開催します。

また、都営住宅の建替えなど多摩ニュータウンの再生、健康都市に向けた健康長寿なまちづくり、二〇五〇年の大人づくり、地域子育て支援拠点施設の整備、みどりのルネッサンスそして公共施設の見直しなど多くの課題について、市民の皆さんと情報を共有し対話を重ね、丁寧に進めてまいります。  
本年もよろしくお願ひ申し上げます。



# 住み続ける街に!

## みんなの会学習会

### 安倍政権のすすめる国土強靱化方針と

### わたしたちのくらし・街づくり

二〇一五年一月二六日(金)、「安倍政権のすすめる国土強靱化方針とわたしたちのくらし・街づくり」という内容で、みんなの会学習会がパルテノン多摩でおこなわれました。話をしてくれたのは、立命館大教授の森裕之先生と元UR職員坂庭国晴さんのお二人、寒さの中三十八名の方が参加しました。

森先生は、大学の講義のようにスピード感のある話し方で、国土強靱化という名の下の行われようと

している、国の施策の大きな流れを話してくれました。

見捨てられた周辺地域は大変です。

キーワードは、コンパクトシティ。これは、少子高齢化にともない急激に人口が減少していく中、日常生活の施設・機能(商店・診療所・福祉施設など)を、どこにでもあるというのではなく、都市の中心部にあつめ、周辺にはなにもつ

森先生は、行政効率だけで公共施設を再編・運営していくのではなく、地域住民のくらしや経済活動もよく考えて進めていかなければいけないと話していました。

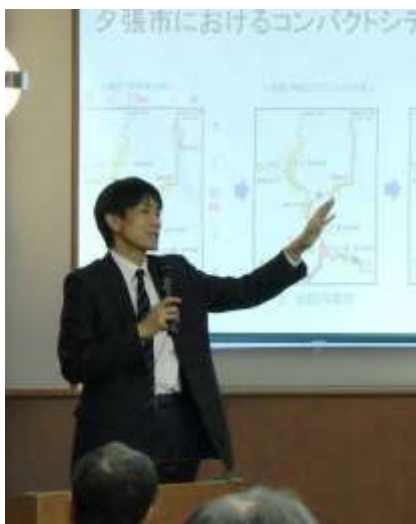
どこにでもあるというのではなく、都市の中心部にあつめ、周辺にはなにもつ

元UR職員の坂庭さんは、ニュータウン再生・街づくりで、住み続けるという考えが重要だと話され

ました。

住み続けることでコミュニティが形成され、そのことで住みやすくなりさらに住み続けられることになる。そのためには居住者の要求を取り入れること・居住者が参加することが大事であると話していました。

▽参加者からは・・・  
「国の施策からはじめて、全体の流れが非常によく理解できた。これは本腰を入れて、地域住民の声をあげていかないと、街の周辺部分はゴーストタウンになっていくだろう」という感想が寄せられていました。





# 2015年 みんなが元気になれる 「新春のつどい」をひらきました

二〇一五年一月三〇日(土)、毎年恒例のみんなの会「新春のつどい」が開かれました。つどいの第一部は、阿部市長

## 新春のつどい講演

### 地方自治体と議会の役割

多摩市では、今年4月に市議会議員選挙がひかえているということで、尾林弁護士は、住民のへらしを



守るうえで地方自治体の役割、そのなかでも地方議会の果たす役割から話を起こしました。

この間、大企業が活動しやすいように、また、住民運動が起こりにくいように、中央政府の圧力で、市町村合併がすすめられ、市町村も市町村議会も約半数になりました。今後安倍政権は、たとえば、道州制で都道府県をつぶすさきがけとしての「大阪都」構想などを企てています。

しかし安倍政権の暴走は、集団的自衛権でも

TPPでも原発再稼働でも住民との矛盾を大きくしています。さらに、一昨年の都議選での日本共産党の躍進で、都議会が大きく変わり、それが、舛添都政での「特養ホームや認可保育所増設への動き」「非正規雇用の正規化への支援」などとなって現れています。

多摩市でも市議選を通じて変化をつくり、住民本位への市政へ、さらに発展させましょう！と結びました。

## ♪ 二部はたのしく

「新春のつどい」第二部では、由布川亭銀歯さんの落語、「老婆の休日」でなごやかな笑いに包まれました。

各団体の報告では、健康友の会から、今年四月にニユーヨークで開かれる「NPT再検討会議」への参加の決意をはじめ、原水協、年金者組合、市職、福祉保育労、新婦人ほかの各団体から、今年の決意やとりくみの報告・発言などが行われました。



NPT参加であいさつ

# 子どももあとなも元気なからたをつくらう!

・・トレーニングコーチからストレッチ体操を学ぶ・・



「腰やひざが痛いのは職業病だから」「子どもたちがなんとなくきちんと座ってられない」・・・保育の現場の声を聞いて、みんなの会の保育部会が、改善のための学習会を企画しました。

講師は、ストレッチ＆コンディショニングコーチという肩書きをもつ、多摩市育ちの斉藤裕子さん。学芸大学で生涯スポーツを学び、現在大学や高校でトレーニングコーチをされている本格的な先生です。

当日は、体の構造など三〇分は座学、その後しっかり体を動かしました。走っても止まらない子どももいるということで、ケンケンをして急に止まる練習からはいり、先生たち自身が背筋力や足腰の筋肉を強める体操やギックリ腰になりにくい姿勢など、具体的な動きを学びました。

ふだん、やったことのない姿勢や動きに「痛いー!」「もう限界」などの



声も飛び出しましたが、ふだん使うことのない筋肉を意識的に動かしたあとの爽快感は格別でした。

保育士さんたちの感想は、「実際に保育の現場で役立つ学習ができてよかった」。また、斉藤先生は、「要望があればいろいろな場でよんでください」とのこと。

必要ならば、みんなの会に連絡ください。

## みんなの会参加団体 (あいうえお順)

- ▽教育を考える多摩市民の会
- ▽原水爆禁止多摩協議会
- ▽原発なくす多摩市民の会
- ▽公共一般多摩支部
- ▽桜ヶ丘社会事業協会労組
- ▽新日本婦人の会多摩支部
- ▽全国福祉保育労
  - こぐま保育園分会
- ▽全国福祉保育労
  - 桜ヶ丘第一保育園分会
- ▽多摩稲城労連
- ▽たま健康友の会
- ▽多摩市財政分析研究会
- ▽多摩市職員組合
- ▽多摩市に公立の特別養護
  - 老人ホームをつくる会
- ▽多摩生活と健康を守る会
- ▽東京土建多摩稲城支部
- ▽東京都教職員組合
  - 多摩地区協議会
- ▽日本共産党南多摩地区委員会
- ▽日本国民救済会多摩稲城支部
- ▽年金者組合多摩支部
- ▽福祉をすすめる多摩市連絡会
- ▽民青同盟すずめ班
- ▽南多摩民主商工会